

81期 8月 重大事故 4件

事故管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度(品目・負傷状況) (損害額)	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容
													名称	本・支店、工場	
J8100173	2025/8/6	水	11:00	貨物	九州	鹿児島	協会社乗務員	乗務	50	30年0ヶ月	トランス 7,500,000円	-	-	-	協会社乗務員が、運行経路を走行中に、トランス(上部温度計)を後方の外れたシートが風で繰り返したたきつけたため折れ曲がり部品が中に落ち込んだ(推測)。
確認日	2025/8/27	水	確認者 (安全)	発生要因			<ul style="list-style-type: none"> トランス上部に温度計が飛び出しているタイプの商品に対し、温度計を直接養生していなかった。 トランスを積み付け、養生、固縛までの手順が明確に定められていなかった。 送り出し教育時、トランスの積み付けや養生、固縛までの手順を周知できていなかった。 	再発防止対策			<ul style="list-style-type: none"> トランス上部に温度計などの突起部位がある場合、養生材(エアークャップないしは段ボール、毛布、など)にて予め養生を行うルールを定める。 トランスの積み付けから養生、固縛までの手順を作成する。 送り出し教育時、作成した手順を乗務員に繰り返し周知と実施状況を確認する。 				
J8100180	2025.08.08	金	05:20	貨物	九州	鹿児島	協会社乗務員	乗務	51	2年6ヶ月	4便設備関係 全損	-	-	-	協会社乗務員が、国道を走行中、道路左側に発生した陥没に、左前輪がはまり車両がバウンドし、操作不能状態となりそのままの勢いで、橋の欄干を突き破り道路左側の澤に転落した。
確認日	-	-	確認者 (安全)	発生要因			<ul style="list-style-type: none"> 線状降水帯の発生による集中豪雨や土砂災害が予想される場合、運行中止判断を行うための運用フローが決められていなかったため事業所での判断ができなかった。 	再発防止対策			<ul style="list-style-type: none"> 「大雨洪水警報・大雪警報・線状降水帯情報発表時の運行業務フロー図」を作成し、点呼時の周知・運行判断・現場対応を行えるよう準備した。事業所においては、運行管理者と全乗務員への周知を行う。 ※ 安全品質環境推進部連絡第81-132号「大雨・大雪・線状降水帯発生時の運行業務フロー図」送付について 				
J8100205	2025.08.28	木	08:20	労災	関東	柏	協会社乗務員	乗務	30	8年0ヶ月	左足裂傷、左足腓骨骨折	90日	-	-	協会社乗務員が、お客様荷卸し待機場で、塩ビパイプの荷降ろし準備の為、両ウィングを開け固縛していたラッシングの荷解きを行ったときに、6段積載していた1段目の製品が助手席側に崩れ、荷解きしたラッシングの整理をしていた乗務員が製品が崩れたところで作業をしており被災した。
確認日	2025/9/10	水	確認者 (安全)	発生要因			<ul style="list-style-type: none"> L型金物とスタンションを使用していないのを当社作業員、管理者とも見過ごし、やり直しを指示しなかった。 ⇒ 製品固定用のL型金物とスタンションが不足していたため使用せず、また、当該乗務員はスポット配車であったことと従来より同様の製品を運搬時は低い荷姿であったことからスタンションを使用しなくても良いと理解し積込・養生し運搬した。 最下段に転がりやすい商品を積み付けないように順番の指示ができておらず、当社作業員や管理者による積込荷姿確認もなされなかったため荷崩れリスクを予測できなかった。 	再発防止対策			<ul style="list-style-type: none"> L型金物とスタンションの不足が起きないように数量を増やし準備する(9月末まで) スポット配車乗務員に対しても漏れなくL型金物とスタンションの使用を必須とすることを周知するよう送り出し教育を行う。 送り出し教育通り実際に使用できていることを作業員、管理者が確認する。 最下段に転がりやすい商品を積み付けしないよう指示を行う。 積込後、荷姿確認と写真撮影を行い荷崩れが起きないことを担保する。 				
J8100209	2025.08.28	木	08:30	労災	関東	戸田BC	協会社乗務員	乗務	63	5年8ヶ月	左手首骨折	18日	-	-	協会社乗務員が、現場で、浴槽(BKW-1216LBP-C)を、荷卸ししやすい様に荷台手前に引っ張った際に、足を踏み外し荷台から落下し、左手を地面につき手首を骨折した。
確認日	2025/9/9	火	確認者 (安全)	発生要因			<ul style="list-style-type: none"> 積込から現場荷卸しまでの作業手順が作成できていなかった。 荷台への昇降台が備え付けられていなかった。 荷台からの落下を想定できていなかった。 	再発防止対策			<ul style="list-style-type: none"> 積込から現場荷卸しまでの作業手順を作成し、全乗務員への繰り返し周知と運用確認を行う。 昇降台を全車両に設置し荷台乗降時に常に使用するよう全乗務員へ周知を行う。 胴ベルト式の安全帯を全車両に常備し運用する。 				